

令和5年度 学校評価について

質問内容(一部略)

A: そう思う

B: どちらかといえばそう思う

C: どちらかといえばそう思わない

D: そう思わない

児童

- 1 学校生活は、楽しい。
- 2 休憩時間は、友達と楽しく過ごしている。
- 3 楽しい授業が多い。
- 4 分かりやすい授業が多い。
- 5 授業では、先生がいろいろと工夫して教えてくれている。
- 6 // ペアやグループ、学級の友達に、自分の考えを発言している。
- 7 // 友達の意見や先生の話をよく聞いている。
- 8 家でも進んで宿題や自主学習をしている。
- 9 元気よく進んで挨拶をしている。
- 10 時間やきまりを守って行動できている。
- 11 学校がきれいになるように、集中してそうじに取り組んでいる。
- 12 係や当番活動、委員会活動に進んで取り組んでいる。
- 13 いろいろな学校行事に進んで楽しく参加している。
- 14 学校では、相手のことを考えて行動しようとしている。
- 15 先生は、よいことをしたときには、ほめてくれる。
- 16 // よくないことをしたときには、きちんとしかつてくれる。
- 17 // 私たちの話やなやみ、困ったことを聞いてくれる。
- 18 自分のなやみを聞いてくれる友達がいる。
- 19 自分や友達がいじめにあつたら、担任の先生に伝えることができる。
- 20 地震や火災、台風などが発生した場合、行動について知っている。
- 21 家の人と学校のでできごとをよく話している。

R5年12月					3～6年生対象		
A	B	C	D	総数	A+B	A+B/総数	
279	182	40	17	518	461	89%	
428	61	21	8	518	489	94%	
172	222	93	31	518	394	76%	
212	233	55	18	518	445	86%	
296	181	36	5	518	477	92%	
193	229	72	24	518	422	81%	
305	181	22	10	518	486	94%	
215	207	70	26	518	422	81%	
239	189	65	25	518	428	83%	
212	242	53	11	518	454	88%	
250	200	53	15	518	450	87%	
279	182	40	17	518	461	89%	
428	61	21	8	518	489	94%	
172	222	93	31	518	394	76%	
212	233	55	18	518	445	86%	
296	181	36	5	518	477	92%	
193	229	72	24	518	422	81%	
305	181	22	10	518	486	94%	
215	207	70	26	518	422	81%	
239	189	65	25	518	428	83%	
212	242	53	11	518	454	88%	

R5年7月					3～6年生対象		
A	B	C	D	総数	A+B	A+B/総数	
283	157	29	16	485	440	91%	
329	129	20	7	485	458	94%	
265	182	31	7	485	447	92%	
202	179	73	31	485	381	79%	
281	178	22	4	485	459	95%	
196	189	81	19	485	385	79%	
296	161	22	6	485	457	94%	
143	233	94	15	485	376	78%	
201	239	39	6	485	440	91%	
260	152	62	11	485	412	85%	
263	174	43	5	485	437	90%	
283	157	29	16	485	440	91%	
329	129	20	7	485	458	94%	
265	182	31	7	485	447	92%	
202	179	73	31	485	381	79%	
281	178	22	4	485	459	95%	
196	189	81	19	485	385	79%	
296	161	22	6	485	457	94%	
143	233	94	15	485	376	78%	
201	239	39	6	485	440	91%	
260	152	62	11	485	412	85%	

保護者

- 1 お子さんは、学校生活を楽しんでいる。
- 2 // 授業が楽しいと言っている。
- 3 // 授業が分かりやすいと言っている。
- 4 // 授業に真剣に取り組んでいる。
- 5 // 家でも進んで宿題や自主学習をしている。
- 6 // 元気よく進んで挨拶をしている。
- 7 // 学校・学年行事に進んで楽しく参加している。
- 8 // 学校のでできごとをよく話してくれる。
- 9 国府小の職員は、子供を認め、よく理解してくれている。
- 10 // 子供のよくない言動をきちんと指導している。
- 11 // 子供に豊かな心が育つように努力している。
- 12 // 子供の能力や努力を適切に評価している。
- 13 // 子供の学習や心身の健康について、気軽に相談できる。
- 14 // 家庭や地域とのかかわりをもった教育活動をしようとしている。
- 15 // いじめの早期発見・早期対応に努めている。
- 16 たより等により、学校の様子を知ることができている。

R5年12月					全保護者対象		
A	B	C	D	総数	A+B	A+B/総数	
320	216	19	5	560	536	96%	
175	307	61	17	560	482	86%	
149	332	71	8	560	481	86%	
263	247	45	5	560	510	91%	
185	210	122	43	560	395	71%	
170	236	127	27	560	406	73%	
349	190	17	4	560	539	96%	
252	205	87	16	560	457	82%	
223	295	32	10	560	518	93%	
227	281	42	10	560	508	91%	
201	311	40	8	560	512	91%	
204	317	31	8	560	521	93%	
237	266	50	7	560	503	90%	
165	317	61	17	560	482	86%	
169	327	46	18	560	496	89%	
218	258	69	15	560	476	85%	

R5年7月					全保護者対象		
A	B	C	D	総数	A+B	A+B/総数	
256	169	24	5	454	425	94%	
142	240	61	11	454	382	84%	
135	261	49	9	454	396	87%	
207	204	31	12	454	411	91%	
148	180	93	33	454	328	72%	
141	195	92	26	454	336	74%	
284	146	16	8	454	430	95%	
202	189	52	11	454	391	86%	
180	234	31	9	454	414	91%	
170	247	32	5	454	417	92%	
168	253	22	11	454	421	93%	
162	254	29	9	454	416	92%	
185	209	49	11	454	394	87%	
121	268	58	7	454	389	86%	
127	266	50	11	454	393	87%	
174	217	49	14	454	391	86%	

考 察

○ 児童アンケートより

第1回の結果と比較して、21項目の設問のうち、増加した項目が9項目、変化なしが2項目、減少が10項目であった。「4 分かりやすい授業が多い」(7.3%増加)、「15 先生は、よいことをしたときには、ほめてくれる」(7.3%増加)の2項目で大きく増加した点はよかった。また、「2 休憩時間は、友達と楽しく過ごしている」や「18 自分のなやみを聞いてくれる友達がいる」など、友達に関する項目については90%を超えている。多くの児童が、有意義に学校生活を送っていることの表れと捉えている。一方で、前回大きく増加した「挨拶」と「掃除」が、今回は減少してしまった点は残念である。さらには、今回のアンケートで最も残念だったのが、「14 相手のことを考えて行動しようとしている」が16.1%減少し、90%を割ってしまった。どこに要因があるか早急に分析し、対策を講じていく必要がある。

○ 保護者アンケートより

前回に続いて、今回も増加した項目が16項目のうち6項目、90%を超えている項目が16項目中7項目あった。全体的には、学校の取組を肯定的に捉えていただいている。一方で、少しずつ減少している項目が、「3 授業が分かりやすいと言っている」(今回1.3%減少)、「6 元気よく進んで挨拶している」(今回1.5%減少)、「16 たより等により、学校の様子を知ることができる」(今回1.1%減少)の3項目である。この結果を真摯に受け止め、改善に向けて対策を講じていきたい。なお、学級通信については、今後も特段の事情がない限り、発行しないことを基本としていく。また、学校の取組について「説明が十分でない」との指摘もいただいている。この点についても、改善を図っていきたい。

○ その他

今回は、子供・保護者・教師の3者の関連に着目して検証した。

「学校生活が楽しい」については、保護者・教師ともに非常に高い値を示しているが、子供たちは僅かながら減少した。授業はもちろん、行事や遊びの中での友達とのかかわりから、「楽しさ」を感じられるようにすることが学校生活で大切にすべきことである。さまざまな手立てを講じて、子供たちがより楽しさを味わえるような教育活動を展開していきたい。

「よいことをしたときには、ほめてくれる」については、3者ともによい結果となった。お互いに信頼関係を構築していくことは大変重要である。今後も、子供たちの挑戦や努力をしっかりと見つめ、本人及び保護者にしっかりと伝えていくことで、3者の結び付きをさらに強固にしていきたい。